

# 建廃協NEWS61号



## 安全運転講習会開催



2月7日(水)日野自動車株式会社羽村工場にて、今まで実施していた省燃費運転講習会に代わり安全運転講習会を開催しました。羽村工場の正門から入ってすぐの建物に集合し、専用バスで工場内にあるお客様テクニカルセンターに移動します。テクニカルセンターに着くと2階の研修室に案内され、講習スケジュール等の説明を受けたあと講習が始まります。



最初は座学で「車両の特性」についての講習を受けます。ここでは制動距離や死角について基本的なことを学びます。次に1階の展示室に移動し、実車を使っての講習を受けます。最初にバックアイ（リアモニター）の死角について講義を受けたあと、屋外に出て実車による死角について学びます。運転席からの死角については全員が実際に運転席に座り、どこが死角になるかを体験するのですが、想像していた以上に死角が多く、ミラーだけに頼るのではなく常に視線を動かして安全確認をすることの重要性を教わりました。死角の確認の次は内輪差について教わりました。また、トラックの特性として外輪の軌跡から更に外を荷台の端が通過するため（オーバーハング）、狭い場所での旋回などは後方の安全確認も重要になります。屋外での講習が終わると研修室に戻り、「人間の特性」について学び午前の講習は終了です。



午後は2グループに分かれ、屋外の特設コースでの走行と日常点検講習を行います。特設コースではクランクや車庫入れ、狭い車間の通過などを体験し、日常点検ではトラックを一周して点検方法やポイントについての講習を受けました。最後はコース走行の結果をそれぞれのインストラクターからコメントしていただき、講習会が終了しました。



今回はドライバーだけでなく、安全や運行の管理者も参加しての講習会でしたが、参加者全員が今日の講習で得られたものをこれからの業務や指導に活かしたいと積極的な意見が聞かれ、とても充実した一日となりました。毎回参加した人にはとても好評な講習会です。次回も6月頃を予定しておりますので積極的な参加をお待ちしております。

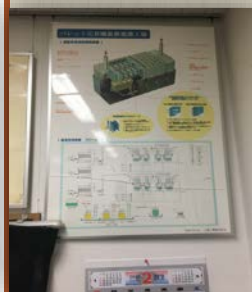


# オリックス資源循環・アイルクリーンテック視察報告

2月19日、共同購買先であるオリックス資源循環と容器（コンテナ）の管理で工場搬入時の待ち時間を減らすヒントになればと、アイルクリーンテックの2か所を視察した。

オリックス資源循環は、公共事業として20年の契約を埼玉県としているが、期間終了後も継続の予定。中間処理業者としては、こちらの施設で最終処分となるのが大きな利点である。

アイルクリーンテックではコンテナ保管システムを見学した。野菜くずや食品残さを、たい肥化し販売している。2700個のコンテナをコンピューターで管理し立体的に保管・運用していた。



## 人生が激変する！もう一つのコミュニケーション ～実践心理学NLPの活用～

2月22日青年部会主催で開催し、総勢42名にご参加いただきました。NLPとは、「Neuro Linguistic Programing」の略語で「神経言語プログラミング」の事を指します。神経言語プログラミングとは、簡単にコミュニケーションや能力開発の心理療法の事を言い、カウンセリングやコーチング等の要素を合わせ持った技法です。NLPという名の通り、伝える言葉の重要性や言葉の持つ意味を伝える為には、信頼関係を構築する事が大事であるという、受講者同士での実践を交え、体験、体感する事で、自分がどう思い相手にどう伝わるのかを学びました。

建廃協ホームページに青年部の活動報告とともにアンケート結果等も掲載していますのでそちらもご覧ください。



## お知らせ



★今年も、4月19日に日本教育会館にて基礎講習会を開催します。  
ご案内は近々お知らせいたします。